digital™

Software Product Description

日本語 DEC Notes for OpenVMS バージョン 2.5 ソフトウェア仕様書

SPD 56.02.00

仕様書の包含する範囲

本書は，日本語 DEC Notes for OpenVMS バージョン 2.5 (以下， DEC Notes と記述します) のソフトウェア機能仕様について記述しています。

1 製品概要

DEC Notes システムは，企業全体を網羅するオンライン・コンファレンスやミーティングを作成したり，アクセスする機能をユーザに提供できるように設計されたコンピュータ・コンファレンス・ソフトウェア製品です。コンピュータ・コンファレンスは，コンピュータでサポートされる実績のある電子メッセージング技術であり，この技術を利用すると，ユーザは自分にとって都合のよい時間に異なる場所の人々とオープンなディスカッションを行うことができます。 DEC Notes を使用すると，参加者は自分の都合のよい時間に自分の机の前でディスカッションに参加できるため，旅費と時間を節約できます。

DEC Notes は電子掲示板，文書の共同作成とレビュー，社内教育やセミナーなど，さまざまなアプリケーションのために使用できます。 DEC Notes の大きな利点の 1 つは，コンファレンスの議事録を詳細な記録として保存できるということです。これらの記録は後でさまざまな条件によって検索することができます。たとえば，参加者の名前，表題，キーワードなどによって検索できます。 DEC Notes を使用すると，社内全体で専門知識を共有するためのメカニズムが提供されるため，同じ作業を複数の部署で重複して行う必要がありません。一般に， DEC Notes を使用すると，企業の階層構造でコミュニケーションの流れを円滑にすることができます。

DEC Notes はクライアント/サーバ・アプリケーションとして実現されています。 DEC Notes クライアントは 2 種類の方法のいずれかで実行できます。 DECwindows プラットフォームを使用すると，ウィンドウ内でマウスを使用して直接操作することにより，さまざまな機能に簡単にアクセスできます。一方， TPU インタフェースを使用してキャラクタ端末で実行することもできます。 DEC Notes サーバはスタンドアロンまたはネットワーク環境の OpenVMS システムで実行されます。

DEC Notes Full-function オプションを使用すると，この後に説明するすべての機能を利用できます。 DEC Notes Client オプションを使用すると，コンファレンスの作成を除き，他のすべての機能を使用できます。

2 機能

分散アクセス

DEC Notes は，遠く離れたノードからでも短時間に応答が得られるように，サーバ・テクノロジを使用して， DECnet または TCP/IP ネットワークで最適なマルチノード・アクセスを可能にするように設計されています。 DEC Notes のコンファレンスは， DECnet または TCP/IP ネットワーク内のどの DEC Notes for OpenVMS Alpha または VAX サーバ・ノードに置くこともでき， DECnet または TCP/IP ネットワーク内のどの DEC Notes for OpenVMS Alpha クライアント， DEC Notes for OpenVMS VAX クライアントからもアクセスできます。したがって，真の意味で分散処理機能を提供します。

リモート・ノードのユーザは，ディスカッションに参加するために，コンファレンスが存在するノードにアカウントを持つ必要がありません。また， DEC Notes はシングル・ノード OpenVMS 構成でも使用できます。フル・ファンクション・サーバがスタンドアロン環境にインストールされている場合も，ネットワ

1996 年 5 月
AE-QWSMA-TE

ーク環境にインストールされている場合も，コンファレンスは，サーバがインストールされているどのノードにも存在できます。

モデレータのサポート

モデレータとはコンファレンスの管理を担当する人です。 DEC Notes では，パブリックなコンファレンスとプライベートなコンファレンスの両方が可能です。プライベート・コンファレンスの場合には，モデレータはノード名とユーザ名を指定して，コンファレンスへのアクセスを特定の参加者グループに制限できます。パブリック・コンファレンスの場合は，参加者の制限はありません。モデレータは新たなコンファレンス開催通知を参加者に送信し，他の参加者から入力されたノートを削除することもできます。また，モデレータは，コンファレンスがアクセスされるたびにすべての参加者に対して表示される特別なお知らせも作成できます。

使いやすさ

DEC Notes は経験のないユーザを念頭において設計されています。機能はすべて，使いやすいコマンドを使用してアクセスでき，オンラインの状況対応型ヘルプによってサポートされます。また， DEC Notes を初めて利用するユーザがこのシステムに短時間に簡単に親しむことができるように，わかりやすくデザインされたマニュアルも提供されます。

エディタ・インタフェースの選択

DEC Notes のキャラクタ端末インタフェースでは，編集のために 3 種類の画面ユーザ・インタフェースが提供されます。ユーザは ANSI に準拠した端末で EVE (拡張可能インタフェース)，EDT 形式のキーパッド・インタフェース，または WPS 形式の GOLD KEY キーパッド・インタフェースを使用することを指定できます。

また， ANSI 端末以外のデバイスで使用するために，DEC Notes にはライン・モード・エディタも含まれています。

DECwindows インタフェースのユーザは， DDIF ファイル形式に基づくコンパウンド・ドキュメントを挿入することにより，グラフィックとテキストを含むノートを入力できます。

トピックとリプライ

DEC Notes コンファレンスの構造は簡単であり，トピックと，そのトピックに対するリプライで構成されます。ナビゲートが困難な階層構造はありません。 1 つのコンファレンスに 50,000 以上のトピックを含むことができ，各トピックにはやはり 50,000 以上のリプライを含むことができます。ディレクトリ・リストにはすべてのトピックが表示され，作成者，タイトル，日付，各トピックへのリプライの数も示されます。ノートはすべて順に読むことができ，ランダムに読むことも可能です。また，まだ読んでいないノートだけを読むこともできます。 DEC Notes では，ユーザは SEARCH， DIRECTORY， KEYWORD コマンドを使用してさまざまなトピックとリプライを検索できます。

DEC Notes への DECwindows インタフェースでは，各コンファレンスで複数の "Read"ウィンドウを開くことができ，一度に複数のコンファレンスを開くこともできます。

ノートブック

ノートブックは，関心のあるコンファレンスを登録したユーザの個人用リストです。ユーザはノートブックに簡単にコンファレンスを追加したり，コンファレンスを削除することができます。ノートブックを使用すると，コンファレンスのために個人名を定義することができ，分散環境では， DECnet または TCP/IP ノード指定がなくても，リモート・コンファレンスにアクセスできます。ノートブックには，ユーザがまだ表示していないノートの数の見積もりが格納されます。コンファレンスにアクセスすると，ノートブックはユーザが最後にコンファレンスにアクセスした後，新規ノートが作成されたかどうかを判断します。また，ノートブックは個人名，使用するエディタ，省略時のプリンタ指定も含めて，ユーザ設定を登録したプロファイルを管理します。

マーカ

マーカはコンファレンスの中で関連するノートを指すユーザ定義名です。ユーザが必要な作業について特記事項を必要としたり，頻繁に参照されるノートを呼び出さなければならない場合に，マーカを使用できます。

キーワード

キーワードを使用すると，ユーザは特定の話題に関係するノートや，他の属性 (タイトル，作成者，入力時刻など) を一般に持たないノートをグループにまとめることができます。ノートのテキストやタイトルにキーワードがなくても，キーワードが表す話題に関係するノートをまとめるのにもキーワードは役立ちます。

インポートされたテキスト

DEC Notes では， DEC Notes の外部でノートとリプライを作成し (ASCII または DDIF 出力ファイルを作成できるエディタを使用して)，後でそれをコンファレンスにインポートすることができます。

メールの統合

DEC Notes では OpenVMS メール機能 (OpenVMS オペレーティング・システムに含まれています) を使用して，ノートやメッセージを DEC Notes の内部から他のユーザに送信できます。

3 必要なハードウェア

適用される Alpha プロセッサ

Alpha:

DEC 2000 モデル 300, 500,
DEC 3000 モデル 300, 300L,
DEC 3000 モデル 300X, 300LX,
DEC 3000 モデル 400, 400S,
DEC 3000 モデル 500, 500S, 500X,
DEC 3000 モデル 600, 600S,
DEC 3000 モデル 700, 700LX,
DEC 3000 モデル 800, 800S,
DEC 3000 モデル 900, 900LX,
DEC 4000 モデル 600 シリーズ,
DEC 4000 モデル 700 シリーズ,
DEC 7000 モデル 600 シリーズ,
DEC 10000 モデル 600 シリーズ

Alpha Station:

Alpha Station 200 モデル 4/100,
Alpha Station 200 モデル 4/166,
Alpha Station 200 モデル 4/233,
Alpha Station 200 モデル 4/266,
Alpha Station 250 モデル 4/233,
Alpha Station 250 モデル 4/266,
Alpha Station 400 モデル 4/266,
Alpha Station 600 モデル 5/266

Digital Server:

Digital Server 2100 モデル A500MP,
Digital Server 2100 モデル A600MP

Alpha Server:

Alpha Server 400 モデル 4/166,
Alpha Server 1000 モデル 4/200,
Alpha Server 1000 モデル 4/233,
Alpha Server 2000 モデル 4/233,
Alpha Server 2100 モデル 4/233,
Alpha Server 2100 モデル 5/250,
Alpha Server 8200 モデル 5/300,
Alpha Server 8400 モデル 5/300

適用される VAX プロセッサ

VAX:

VAX 4000 モデル 100,
VAX 4000 モデル 100A,
VAX 4000 モデル 106A,
VAX 4000 モデル 200,
VAX 4000 モデル 300,
VAX 4000 モデル 400,
VAX 4000 モデル 500,
VAX 4000 モデル 500A, 505A,
VAX 4000 モデル 600,
VAX 4000 モデル 600A,
VAX 4000 モデル 700A, 705A,
VAX 6000モデル 200 シリーズ,
VAX 6000モデル 300 シリーズ,
VAX 6000モデル 400 シリーズ,
VAX 6000モデル 500 シリーズ,
VAX 6000モデル 600 シリーズ,
VAX 7000 モデル 600 シリーズ,
VAX 7000 モデル 700 シリーズ,
VAX 8200, VAX 8250, VAX 8300, VAX 8350,
VAX 8500, VAX 8530, VAX 8550, VAX 8600,
VAX 8650, VAX 8700, VAX 8800, VAX 8810,
VAX 8820, VAX 8830, VAX 8840,
VAX 9000モデル 110, VAX 9000モデル 210,
VAX 9000モデル 300 シリーズ,
VAX 9000モデル 400 シリーズ,
VAX 10000 モデル 600 シリーズ,
VAXft モデル 110,310,410,610,612,
VAX–11/730, VAX–11/750, VAX–11/780,
VAX–11/785

MicroVAX:

MicroVAX II, MicroVAX 2000,
MicroVAX 3100 モデル 10,10E,
MicroVAX 3100 モデル 20,20E,
MicroVAX 3100 モデル 30,40,
MicroVAX 3100 モデル 80,85,
MicroVAX 3100 モデル 90,95,96,
MicroVAX 3200, MicroVAX 3300,
MicroVAX 3400, MicroVAX 3500,
MicroVAX 3600, MicroVAX 3800,
MicroVAX 3900

VAXstation:

VAXstation II, VAXstation 2000,
VAXstation 3100 モデル 30,40,
VAXstation 3100 モデル 38,48,
VAXstation 3100 モデル 76,
VAXstation 3200, VAXstation 3500,
VAXstation 3520, VAXstation 3540,
VAXstation 4000 VLC,
VAXstation 4000 モデル 60,

VAXstation 4000 モデル 90,96

VAXserver:
VAXserver 3100 モデル 10,10E,
VAXserver 3100 モデル 20,20E,
VAXserver 3200,VAXserver 3300,
VAXserver 3400,VAXserver 3500,
VAXserver 3600,VAXserver 3602,
VAXserver 3800,VAXserver 3900,
VAXserver 4000 モデル 200,
VAXserver 4000 モデル 300,
VAXserver 4000 モデル 400,
VAXserver 4000 モデル 500,
VAXserver 4000 モデル 600,
VAXserver 6000 モデル 210,220,
VAXserver 6000 モデル 310,320,
VAXserver 6000 モデル 410,420,
VAXserver 6000 モデル 510,520,
VAXserver 6000 モデル 610,
VAXserver 6000 モデル 620,
VAXserver 6000 モデル 630

適用されない VAX プロセッサ

- VAX–11/725
- VAX–11/782
- MicroVAX I
- VAXstation I
- VAXstation 8000

VAX プロセッサ制限事項

スタンドアロンの MicroVAX 2000 および VAXstation 2000 では，TK50 テープ・ドライブが必要です。

必要なディスク容量
(Block Cluster Size=1 の場合)

Alpha システム

インストール時:	11,000 ブロック (5.5 M バイト)
システム運用時:	6,900 ブロック (3.4 M バイト)

VAX システム

インストール時:	6,400 ブロック (3.2 M バイト)
システム運用時:	5,600 ブロック (2.8 M バイト)

これらのディスク容量は，システム・ディスク上で必要となる数値を示したものであり，概算です。実際の値は，システムの環境，構成，ソフトウェア・オプションに応じて異なります。

日本語 DECwindows 環境で使用するために必要なメモリ

同一システム上でクライアントとサーバの両方を動作させているスタンドアロンの日本語 DECwindows 環境で本ソフトウェアを使用するには，OpenVMS VAX システムの場合は最低 12 M バイト，OpenVMS Alpha システムの場合は最低 32 M バイトのメモリが必要です。

日本語 DECwindows アプリケーションの性能とメモリの使用量は，システムの構成に大きく左右されます。サーバ (アプリケーションを表示する部分) が別のシステムにあるクライアント・システム (ソフトウェアをインストールし実行するシステム) ではメモリは少なくて済みます。一つのシステム上で複数のアプリケーションを実行したり，アプリケーションの性能を改善するためにはより多くのメモリが必要となります。

4 オプション・ハードウェア

DEC Notes では，ANSI 制御機能に応答し，ANSI モードで動作する端末だけで画面編集機能がサポートされます。DEC Notes の画面編集は，DEC VT200 および VT100 端末ファミリの機能を最適化するように設計されています。また，OpenVMS オペレーティング・システムでサポートされる非 ANSI 端末のためにライン・モード編集も提供されます。

5 クラスタ環境

本レイヤード製品は，正規のライセンスを持つクラスタ構成*の上にインストールされている場合，機能上の制限を受けません。本ソフトウェアで必要とされるハードウェアについては「必要なハードウェア」の項に記述されているとおりです。

* クラスタ構成については『VAXcluster Software for OpenVMS VAX Software Product Description (SPD 29.78.xx)』または『VMScluster Software for OpenVMS Alpha Software Product Description (SPD 42.18.xx)』に詳しく説明されています。また，この構成には CI, Ethernet および Mixed Interconnect 構成が含まれます。

6 必須ソフトウェア

Alpha システム

ターミナル対応のシステムの場合

- 日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V6.1 以降
  * 日本語 OpenVMS AXP は V6.2 から名称が日本語 OpenVMS Alpha と変わりました。

日本語 DECwindows Motif が動作しているワークステーションの場合

- 日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システム V6.1 以降
- 日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.2 以降

VAX システム

ターミナル対応のシステムの場合
(日本語 DECwindows インターフェイスなし)

- 日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V6.0 以降

日本語 DECwindows が動作しているワークステーションの場合

- 日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V6.0 以降
- 日本語 DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2 以降

本製品は次のいずれかの方法で実行できます。

- スタンドアロン実行
  X11 ディスプレイ・サーバとクライアント・アプリケーションを同一のマシン上で実行します。
- リモート実行
  X11 ディスプレイ・サーバとクライアント・アプリケーションを別々のマシン上で実行します。

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS は日本語 OpenVMS オペレーティング・システムの一部ですが，別々にインストールする必要があります。なお，標準版 DECwindows Motif for OpenVMS をインストールする際に，次の 3 つの構成要素の一部だけをインストールするか，全部をインストールするかを選択できます。

- DECwindows Motif for OpenVMS Compute Server (ランタイム・サポートを含むベース・キット)
- DECwindows Motif for OpenVMS Device Support
- DECwindows Motif for OpenVMS Programming Support

スタンドアロン実行の場合は，次の標準版 DECwindows Motif の構成要素をインストールする必要があります。

- DECwindows Motif for OpenVMS Compute Server
- DECwindows Motif for OpenVMS Device Support

リモート実行の場合は，次の標準版 DECwindows Motif の構成要素をインストールする必要があります。

サーバ・マシン

- DECwindows Motif for OpenVMS Compute Server
- DECwindows Motif for OpenVMS Device Support

クライアント・マシン

- DECwindows Motif for OpenVMS Compute Server

OpenVMS テーラリング

本レイヤード製品の全機能を得るには，次の OpenVMS 構成要素が必要です。

Alpha

- OpenVMS Required Saveset
- Network Support
- Secure User’s Environment
- Utilities
- Miscellaneous Files
- Example Files
- OpenVMS Workstation Support

VAX

- OpenVMS VAX Required Saveset
- Network Support
- Secure User’s Environment
- Utilities

OpenVMS のクラスおよびテーラリングについては OpenVMS オペレーティング・システムのソフトウェア仕様書 (SPD) を参照してください。

7 オプション・ソフトウェア

- DECnet for OpenVMS VAX
- DECnet for OpenVMS Alpha
- 日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS Alpha V3.1
- 日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS VAX V3.0
- ALL–IN–1 for OpenVMS Alpha V3.1
- ALL–IN–1 for OpenVMS VAX V3.0B
- VAX DECspell Verifier/Corrector V1.1

8 バージョンアップの考慮

本製品の将来のバージョンでは，必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小構成が変更されることがあります。

9 提供媒体

Alpha システム

- CD–ROM

本製品は『日本語 OpenVMS Alpha ソフトウェア・ライブラリ』として CD–ROM で提供されます。

VAX システム

- 9 トラック 1600BPI 磁気テープ
- TK50 ストリーム・テープ

本製品は『日本語 OpenVMS VAX Consolidated Software Distribution』の一部として CD–ROM でも提供されます。

本製品のソフトウェア・ドキュメントは『日本語 OpenVMS VAX Online Documentation Library』の一部として CD–ROM でも提供されます。

10 注文情報

Alpha システム

ソフトウェア・ライセンス: QL-xxxJ*-**
ソフトウェア媒体/ドキュメント: QA-03XJA-H8
ソフトウェア・ドキュメント: QA-960J*-GZ
[ドキュメントが別キットで提供される場合]
ソフトウェア製品サービス: QT-xxxJ*-**

VAX システム

ソフトウェア・ライセンス: QL-xxxJ*-**
ソフトウェア媒体: QA-xxxJ*-**
ソフトウェア・ドキュメント: QA-960J*-GZ
ソフトウェア製品サービス: QT-xxxJ*-**

提供されるライセンス，サービスおよび媒体の詳細については，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

11 ソフトウェア・ライセンス

本ソフトウェアは日本 DEC 標準販売約款中のライセンス規定に基づいて提供されます。

日本 DEC のライセンス条件とその方針についての詳細は，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

ライセンス管理機能

本レイヤード製品は OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。

DEC Notes Full-function オプションのライセンス単位には，無制限システム・ユースとコンカレント・ユースがあります。コンカレント・ユース・ライセンスでは，規定された人数内で同時に誰でも本レイヤード製品を利用できます。

DEC Notes Client オプションのライセンス単位には，無制限システム・ユースとコンカレント・ユースがあります。コンカレント・ユース・ライセンスでは，規定された人数内で同時に誰でも本レイヤード製品を利用できます。

ライセンス管理機能についての詳細は，OpenVMS オペレーティング・システムのソフトウェア仕様書 (SPD) またはドキュメント・セット中の『License Management Utility Manual』を参照してください。

12 ソフトウェア製品サービス

日本 DEC では様々なサービス・オプションを提供しています。詳細については，最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

13 保証

本ソフトウェア製品については，日本 DEC 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

上記の内容は，リリース時点の情報です。最新の情報については，日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

© 1996 Digital Equipment Corporation Japan.
All rights reserved.

® Macintosh は米国 Apple Computer 社の商標です。

® Motif は Open Software Foundation 社の商標です。

™ DIGITAL ロゴ, Alpha, AXP, DDIF, DEC, DEC Notes, DECnet, DECwindows, Digital, EDT, LinkWorks, GOLD KEY, LinkWorks, OpenVMS, VAX, VMS, WPS は米国 Digital Equipment Corporation の米国における商標です。